

■ 関西大学 年史資料展示室 企画展 ■

「100年の軌跡 新時代の幕開け

関西大学野球部 100年」を開催

～ 関大野球部 100年の軌跡と「79年目の奇跡」～

関西大学では、10月1日（木）から千里山キャンパス簡文館にて、今年で創部100周年を迎えた体育会野球部の軌跡を振り返る企画展「100年の軌跡 新時代の幕開け 関西大学野球部100年」を下記のとおり開催します。

本企画展では、1915年の創部から始まる野球部100年の歴史を、海外遠征や名選手を輩出した戦前・戦後の黄金時代、プロ野球での活躍など、さまざまな展示品とトピックを通じて振り返ります。

また、10月5日（月）には、本学卒業生で戦前のプロ野球・大阪タイガースで活躍し、その後野球殿堂入りを果たした西村幸生氏（故人）のご子女であるジョイス津野田幸子さんが、79年ぶりに奇跡的に発見されたハワイ遠征時のサインボールを持って来学します。（詳細は別紙をご参照ください）

会期中は一般の皆様にも広く開放しており、10月5日にはジョイス津野田幸子さんの取材も可能です。つきましては、ご多忙のところ恐縮ですが、取材・周知についてご検討いただきますようお願い申し上げます。

記

- 1 会 期 2015年10月1日（木）～12月25日（金）、2016年1月7日（木）～3月31日（木）
開館時間／10：00～16：00
休 館 日／日曜・祝日および2016年2月1日～8日、3月3日・4日
- 2 会 場 千里山キャンパス 簡文館1階 年史資料展示室
吹田市山手町3-3-35（阪急電鉄「関大前」駅下車 北出口から徒歩約15分）
- 3 対 象 どなたでも可
- 4 入 館 料 無 料（事前申込不要）
- 5 展 示 品 ・ハワイ遠征時のアルバム、サイン帳パネル、サインボール（※10/5以降の展示）
・上田利治氏（元阪急ブレーブス監督、野球殿堂入り）学生時代使用のキャッチャーミット
・山口高志氏（阪神タイガース投手コーチ）阪急ブレーブス時代のユニフォーム
・野球部新・旧ユニフォーム ほか

以 上



この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：石田、寺崎

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel. 06-6368-1131 Fax. 06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp

この伝統を、超える未来を。



○発端はハワイの「尋ね人広告」

このエピソードは、今年1月、ハワイの日本語新聞やラジオで流れた奇妙な「尋ね人」広告に端を発します。差出人はハワイ大学コミュニティ・カレッジズ名誉総長のジョイス津野田幸子さん（77）、探し相手は「こいで さぶろう様」でした。

関大野球部は、1936年に2度目のハワイ遠征を行いました。この時のエースだった西村幸生氏の長女が幸子さんです。西村氏は関大卒業後、大阪タイガース（現阪神）に入団、巨人キラーとして活躍しタイガースの優勝に貢献しましたが、太平洋戦争で戦死しました。1977年には、草創期のタイガースを支えたエースとして、野球界に対する貢献が認められ野球殿堂入りを果たしています。

○バットボーイと「こいで さぶろう」

ハワイ遠征時、西村氏ら関大野球部のメンバーは、お世話になったバットボーイの少年にお礼のサインボール3個とメンバー18人のサイン帳を贈りました。その後、半世紀以上経った2002年、このサイン帳のコピーが突然ハワイから関大に届きましたが、何人かの人を経由していたため、差出人は特定できず、かろうじて名前が「こいで さぶろう」らしい、また野口英世博士の研究者であるらしい、ということくらいでした。

このサイン帳の存在を知ったのが、今年1月の創部100周年記念式典に招かれた幸子さんです。「父はフィリピンで戦死したとされているが、遺骨も返されず、せめてハワイ遠征までした戦前の父たちの様子を知る人を探したい」。そう考えた幸さんは、ハワイ遠征した西村氏たちのお世話をして、サイン帳を受け取った元バットボーイを探そうと決意しました。「こいで・さぶろう」という名前など、少ない手がかりを元に広告を作り、ハワイのメディアに流しました。そして1ヶ月近く経った頃、「それは私だ」と名乗り出たのが、サミュエル・コイデ博士（91）でした。

○名乗り出た医師

博士は少年時代、野球に打ち込みましたが、その後医学研究の道を歩み、内分泌腺専門医として優れた業績を残しています。ハワイの新聞広告などで幸さんが自分を探しているのを知り連絡するとともに、その後、79年間大切に保管していた西村氏らのサイン入りボール3個を幸さんに届け、関大野球部の当時の活躍などを幸さんに伝えました。

幸さんは戦後ハワイに移住し大学で教鞭をとりましたが、現在は千葉の大学でも英語教育に従事し、日本とハワイを往復する生活です。今回の出来事をきっかけに、幸さんはハワイ遠征当時の関大野球部のチームメートの遺族らと交流を始めるとともに、西村氏の出身地である伊勢市の図書館に、英語の絵本を寄贈する事業も始めるそうです。

幸さんは企画展がスタート直後の10月5日（月）、79年の時を経て奇跡的に発見された3個のサインボールを持って来学されます。その際、幸さんに取材いただくことも可能ですので、取材を希望される場合は、前頁のお問い合わせ先までご連絡ください。

◆ジョイス津野田幸子さん 来学日程

日 時／10月5日（月）16:00

場 所／千里山キャンパス 関西大学会館

吹田市山手町3-3-35（阪急電鉄「関大前」駅下車 南出口から徒歩約5分）

※関西大学会館にて、サインボールの贈呈を行った後、企画展会場の年史資料展示室に移動します。